

南条殿御返事

弘安三年九月

五九歳

はくまいひとふくろ、いも一だ給び了んぬ。抑故^{そもそも}なんでうの七らうごらうどの事、
いままではゆめかゆめか、まぼろしかまぼろしかとうたがいて、そらごと^{虚言}のみをもひ
て候へば、此の御ふみにもあそばされて候。さてはまことかまことかと、はじめ^始てうた
が^夢いいできたりて候。